



ゲンカイツツジ

[玄界躑躅]

5本の樹

落葉 / 低木 / 木本植物 / 在来種



科名 ツツジ科 (APGⅢ)

特記 生長：普通

ツツジのなかでは最も早い3月、葉の展開前に紅紫～淡い紅紫色の花をつける。ミツバツツジに似ているが、花に丸みがある。原種は絶滅危惧種だが園芸品種が多数流通する。なかでも八重咲の「光源氏」に人気がある。樹名は、玄界灘を囲むように分布することに由来する。



葉



花



紅葉と実



全景

Memo

樹名に「ツツジ」がつくが、シャクナゲに近いことから、シャクナゲに分類されることがある。

お手入れカレンダー	月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
花 期				■									
果 実				(花後にできる蒴果(さくか)は花殻とともに除去する)									
紅 葉												■	
施 肥		■			■								
剪 定					■								
★：花芽分化の時期（分化後に剪定すると花付が少なくなる）													

好みの環境				
日当り	陽	○	○	陰
土 壤	乾		○	湿
寒 さ	強	○		弱
暑 さ	強	○		弱
潮 風	強		○	弱

観賞ポイント	姿	花	葉	紅葉	黄葉	実	香
	○	○		○			

ポイント

早春3月に咲き始め庭を彩る貴重な花木。昼夜の寒暖差がある地方ほど美しく紅葉する。乾燥気味の岩場に自生し寒さ暑さに強い。病虫害も少なく丈夫なツツジで、放任しても自然に樹形がまとまる。

剪 定

常緑のツツジのように定期的な剪定は必要ない。自然に樹形がまとまるので、徒長枝を切りつめる程度で維持できる。落葉性のツツジは萌芽力が弱いため、刈り込んだり強い剪定をすると衰弱する。

病虫害

丈夫だが、夏の高温時に乾燥すると、グンバイムシやハダニが発生し、葉が白っぽく変色しやすい。駆除し充分灌水する。新芽や蕾を食害するベニモンアオリンガが発生することがある。

呼べる蝶 コツバメ・ヒメシジミ・クロシジミ

